

5.7 日影

5.7 日影

5.7.1 工事の完了後

(1) 調査事項

調査事項は、表 5.7-1に示すとおりとする。

表 5.7-1 調査事項

区分	調査事項	
予測した事項	冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度	日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度
予測条件の状況	・計画建築物等の立地状況等（位置、高さ、形状等及び周辺建築物の状況）	
環境保全のための措置の実施状況	・浸水対策のため敷地地盤は1.6mかさ上げするが、計画する工場棟の高さ（26.4m）は既存の工場棟の高さ（28.0m）より低く抑え、周辺地盤からの高さは既存工場と同様とする。 ・煙突は既存煙突と同じ高さとするにより、計画地周辺の日影の状況に配慮する。	

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺地域とする。

(3) 調査方法

調査方法は、表 5.7-2に示すとおりとする。

表 5.7-2 調査方法

調査事項		冬至日における日影の範囲、 日影となる時刻、時間数等の 日影の状況の変化の程度	日影が生じることによる影響に 特に配慮すべき施設等における 日影となる時刻、時間数等の 日影の状況の変化の程度
調査時点		計画建築物等の工事が完了した後の冬至日頃とする。	
調査期間	予測した事項	真太陽時の8時から16時とする。	
	予測条件の状況	真太陽時の8時から16時とする。	
	環境保全のための 措置の実施状況	工事の完了後とする。	
調査地点	予測した事項	計画建築物等により、日影が生じる 範囲とする。	図 5.7-1 に示す4地点とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺地域とする。	
	環境保全のための 措置の実施状況	計画地内とする。	
調査方法	予測した事項	現地調査及び計画建築物のしゅん工 図等の関連資料の整理を行い、時刻 別日影図及び等時間日影図を作成す る方法とする。	天空写真を撮影し、太陽軌道を記入 する方法とする。
	予測条件の状況	現地調査及び関連資料の整理による方法とする。	
	環境保全のための 措置の実施状況	現地調査及び関連資料の整理による方法とする。	

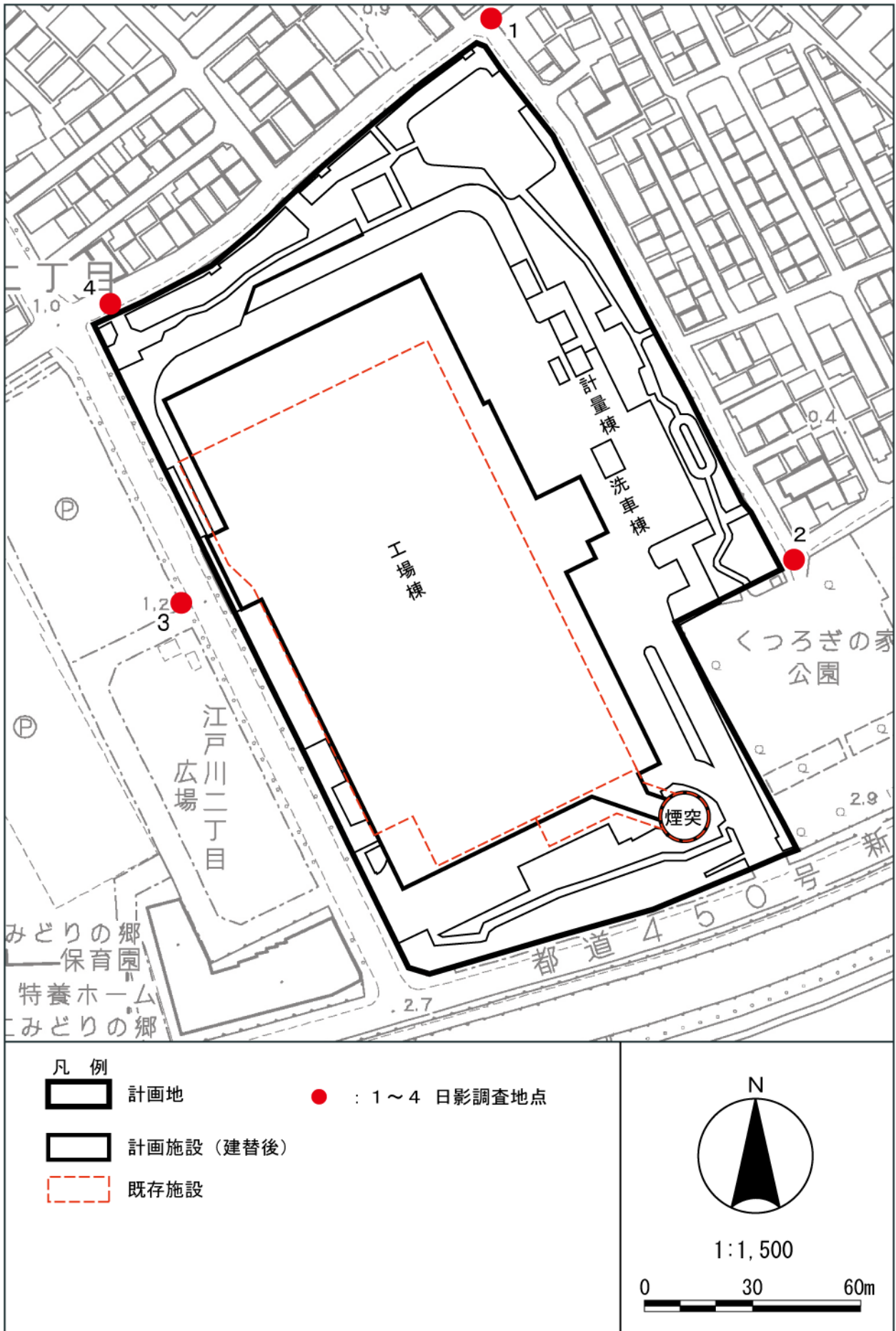


図5.7-1 日影調査地点